

幕末から第二次世界大戦期までに、当時の最新技術でつくられた、日本の近代化に貢献した建物やインフラなどの遺産です。近代化遺産保存センターでは、私たちのまち舞鶴の礎を築いたこれらの近代化遺産を大切に次世代に継承していきたいと考えています。

旧村役場の近代建築



現在の舞鶴市域は、元々明治22年の町村制施行により発足した1町17村からスタートします。その後、西地区では昭和13年に舞鶴町と池内村など5つの村が合併して旧「舞鶴市」となり、東地区も同年、新舞鶴町と志楽村などが合併して「東舞鶴市」が誕生しました。さらに軍の要請で、昭和18年に舞鶴市と東舞鶴市が合併。昭和32年に加佐町を加えて、現在の「舞鶴市」となりました。近代化の時代の中で、合併と再編が繰り返されてきたわけですが、今回はその歴史を物語る役場建築をご紹介します。

旧志楽村役場

舞鶴市字小倉16 外観のみご覧いただけます。

旧池内村役場

舞鶴市字布敷120
簡易郵便局をご利用の際は天井や窓、木製の受付カウンターもご覧ください。

志

楽小学校の東側の国道沿いに洋館があるのをご存知ですか。これは昭和初期に建てられた旧志楽村役場庁舎です。中央のドーマー屋根や洋風の玄関庇が特徴的で、のどかな田園風景にハイカラな洋風建築の出現は、当時の地域の人々に驚きとともに、昭和という新しい時代の訪れを感じさせたことでしょう。昭和13年に志楽村など2町3村が合併して東舞鶴市が誕生したことで、市の志楽支所として使用されました。戦後は長らく農協に転用され、地域のコミュニティの場として親しまれました。

池

内小学校東側にある池内公民館は、かつての旧池内村役場の建物です。昭和10年に建てられました。車寄せのアーチ窓など、洋風なデザインが見られます。町役場の後、農協や郵便局として利用された後、現在は池内振興協議会が管理を受け継ぎ、簡易郵便局や児童クラブとして活用されています。激動の時代に地域の発展を願って建てられた2つの村役場の建物は、今日もその歴史を伝えています。



イベント告知 巡回パネル展、初開催。

舞鶴市内の近代化遺産を豊富な写真で紹介するパネル展を下記5会場で順次開催します。

巡回会場一覧

まなびあむ	9.16(水) - 30(水)
西駅交流センター	10.7(水) - 28(水)
西図書館	11.5(木) - 15(日)
東図書館	11.18(水) - 12.2(水)
郷土資料館	12.4(金) - 20(日)

舞鶴の 近代化遺産ずかん

赤れんが倉庫だけじゃないので、ちょっと覗いてみませんか。

舞鶴赤れんがパークには明治時代から大正時代に旧海軍が建てたれんが造りの倉庫8棟が残り、国の重要文化財に指定されています。舞鶴市では令和7年度から貴重な近代化遺産を将来に受け継いでいくため、6号棟の保存修理工事に着手しました。

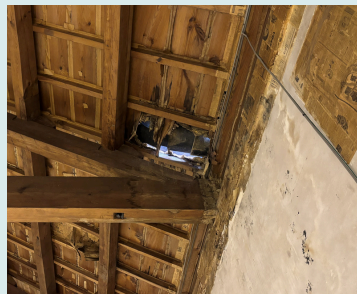
重要文化財を未来に引き継ぐ

赤れんが 6号棟 保存修理工事のこと



建物の外観はそんなに傷んでいるように見えませんが、どこを修理するんですか？

よく見てください。建てられて120年。あちこち傷みが見られます。



雨漏り

特に雨漏りが酷く、屋根のあちこちに穴が空いています（見上げると空が見える場所もあります）。雨漏りが屋内の梁や床を腐食させています。



割れ

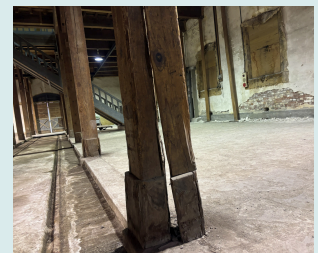
窓の周りなどで外壁の割れ、剥落が多くあります。



はくらく 剥落

内部の漆喰壁は広範囲で剥落。

窓の破損



柱の破損

令和8年度文化財保存活用地域計画講座
令和8年度「舞鶴の近代化遺産」連続講座

来月、ぜひ実際にご覧ください！

特別公開！

修理中の重要文化財

「赤れんが 6号棟」を見に行こう



日本遺産



ZENKIN

日本遺産MONTH特別公開
近代化遺産全国一斉公開参加事業

2026.10.25 日曜日

10:30~/13:30~/15:00~

各回約1時間 同内容で実施 事前申込・先着順 各回定員15名（全45名）

申込は
10/9から
開始します！

公式HP



今月の「近代化遺産センターNEWS」はいかがでしたか？
QRコードから、あなたの「知りたい」「見たい」をお聞かせください。
舞鶴市近代化遺産保存センター TEL: 0773-68-9236 kindaikaisan@city.maizuru.ljp

